

米のヒット甲子園2017

大賞は「石見高原ハーブ米きぬむすめ」栽培法も評価

「米のヒット甲子園」（主催：日経トレンドィ、特別協賛：象印マホービン）は、消費者目線で今一番食べてほしいお米を選ぶ新米の味覚審査会。その最終審査会が11月21日にパレスホテル東京で開かれた。最終審査にノミネートされた9銘柄を、専門家7人が食べ比べ、「今一番食べてほしいお米」を選出。最後まで白熱した審査会を制したのは、環境に配慮した栽培方法も光る「石見高原ハーブ米きぬむすめ」だった。

私たち生産者が1年かけて丹精込めて作ったハーブ米を「ぜひ、ご賞味下さい」



島根県推奨

ハーブ米は島根県エコロジー農産物です

島根県エコロジー農産物とは…
化学合成肥料・農薬を1/2以下に抑え環境にやさしい農業を実践している生産者（エコファーマー）が作った農産物として島根県が推奨しています。環境にやさしい安全・安心なお米を皆様にお送りします。

1 緑肥となるハーブ



4月下旬～5月上旬
前年の稲刈り後、田んぼへハーブの種をまきます。一冬越して春になると田んぼ一面ハーブにおおわれます。

2 ハーブのすきこみ



4月下旬～5月上旬
田植えの準備として有機質の肥料をまいてハーブと一緒にすきこみます。

3 田植え



5月上旬～下旬
ハーブをすきこんだ田んぼへきぬむすめの苗を植えます。

4 生育期間中



6月下旬～
期間中も有機質の肥料だけを追肥として使用し農薬も通常の1/2に抑えています。

5 収穫



9月下旬～
ハーブの種まきから1年後、やっとお米の収穫となります。収穫後、来年に向けハーブの種をまきます。

6 調整作業



もみすり・精米後、皆様ののもとに届けられます。